

グローバル株式厳選ファンド

愛称：セカイノヒカリ

運用報告書（全体版）

第2期（決算日 2025年8月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル株式厳選ファンド」は、2025年8月20日に第2期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年8月16日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル株式厳選ファンド	・RMグローバル厳選株式マザーファンドの受益証券
	RMグローバル厳選株式マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	グローバル株式厳選ファンド	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	RMグローバル厳選株式マザーファンド	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

ホームページ： <https://www.resona-am.co.jp/>

＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				MSCI オール・カントリー・ ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株 式 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
(設定日)	円	円		%		%	%	百万円
2023年8月16日	10,000	—		—	223,435.10	—	—	1
1期(2024年8月20日)	12,405	0		24.1	278,884.59	24.8	98.8	16
2期(2025年8月20日)	13,313	0		7.3	329,366.40	18.1	98.7	19

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc. に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

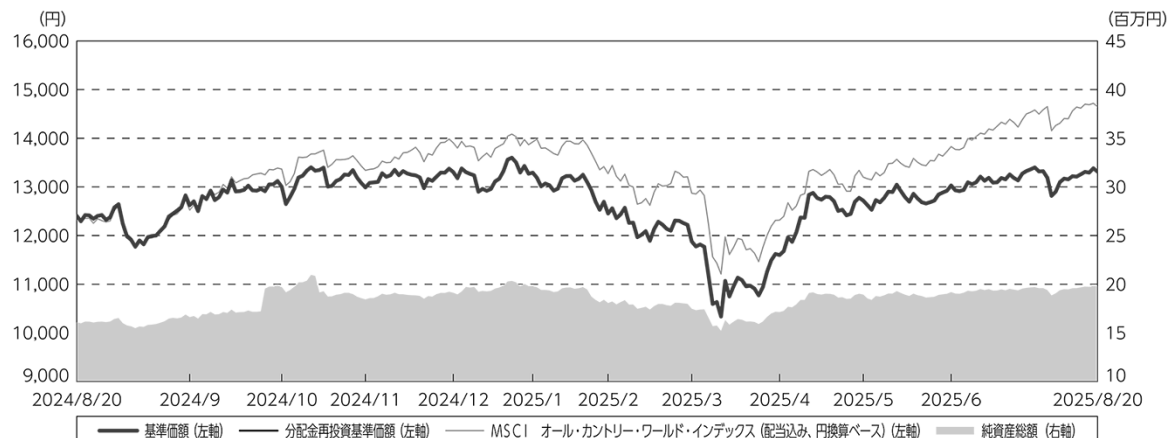
年 月 日	基 準 価 額		MSCI オール・カン트리・ ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2024年 8 月20日	円 12,405	% —	278,884.59	% —	% 98.8
8 月末	12,376	△0.2	276,578.72	△ 0.8	98.7
9 月末	12,622	1.7	281,557.62	1.0	98.5
10月末	13,003	4.8	300,502.48	7.8	98.7
11月末	12,989	4.7	299,916.52	7.5	98.7
12月末	13,305	7.3	312,635.97	12.1	98.7
2025年 1 月末	13,292	7.2	313,051.85	12.3	98.9
2 月末	12,453	0.4	298,407.26	7.0	98.7
3 月末	11,878	△4.2	289,341.53	3.7	98.7
4 月末	11,600	△6.5	276,916.99	△ 0.7	98.7
5 月末	12,718	2.5	296,754.61	6.4	98.4
6 月末	13,029	5.0	310,898.09	11.5	98.7
7 月末	13,323	7.4	327,934.21	17.6	98.7
(期 末) 2025年 8 月20日	13,313	7.3	329,366.40	18.1	98.7

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2024年8月21日～2025年8月20日)

期中の基準価額等の推移



期 首：12,405円

期 末：13,313円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 7.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、期首(2024年8月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。
- (注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

トランプ政権の関税政策に対する警戒感が後退したことに加え、米国での堅調な企業業績や利下げ観測が好感され、グローバル株式市場が上昇したことで、基準価額は上昇しました。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げや、米国大統領選挙でトランプ氏が再選したことを受け、上昇しました。期中は、米国政権の相互関税発表による景気後退懸念の高まりから株式市場は一時下落しましたが、米国政権が相互関税の上乗せ部分を一時停止したことや各国と関税交渉で合意に至ったことにより上昇に転じました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドルに対してほぼ同水準、ユーロに対して円安となりました。

米ドルに対して、期初に日米金利差が縮小するとの観測から円高米ドル安が進行した後、想定より底堅い米国の景気指標などを受け、FRBによる利下げペース鈍化が意識され円安米ドル高が進行しました。期中は、米国の景気悪化懸念やトランプ政権のパウエルFRB議長に対する解任発言などを受け、円高米ドル安に転じました。期末は、米国が各国と関税の交渉で合意したことでリスク選好が回復したことや、日本の参議院議員選挙で与党が過半数割れしたことで財政悪化への懸念から円安米ドル高が進行しました。

ユーロに対して、期前半は、ECB（欧州中央銀行）が連続で利下げを行った一方、日銀は利上げ継続姿勢だったことから、円高ユーロ安が進行しました。期後半になると、米国の通商政策から日銀が追加利上げを見送った一方でECBが利下げ終了に向かっていることや、避難通貨としてのユーロ買いが進んだことで、円安ユーロ高に転じました。

新興国通貨について、期前半は、中国を中心に米国による関税引き上げへの懸念などが意識され、米ドルに対して新興国通貨安となりました。期後半は、米国の関税策導入以降米ドル離れが進行したことで、米ドルに対して新興国通貨高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ キング・スライド・ワークス（台湾）

サーバー向けレールキットの世界大手企業です。技術力とコスト競争力に優位性を持ち、特にサーバーを手前に引く際のスムーズさや安定性は、高い市場シェアを占める要因となっています。近年では、キッチン向けレールキットも製造しており、加工難易度や機能性の向上により、今後の成長が期待されています。米国の大手テクノロジー企業の好決算を受けてAI（人工知能）投資関連株への注目が再び高まったことが追い風となり、株価は上昇しました。

■ アクソン・エンタープライズ（米国）

警察などの法執行機関向け装備の開発企業です。法執行現場での安全性と透明性の向上を目指し、銃器の代替となる非致死性兵器の開発に取り組んでおり、テザー銃（ワイヤー針射出式スタンガン）では独占的なシェアを有しています。近年は、ボディカメラやクラウドサービスなどへ事業を拡大するとともに、法執行機関のDX（デジタル技術を活用した業務プロセス改善）進展を支援するなど海外展開も加速しています。同社の業績は全事業で好調を維持しており、持続的成長への評価が高まった結果、株価は堅調に推移しました。

<マイナス要因>**■ スターサージカル（米国）**

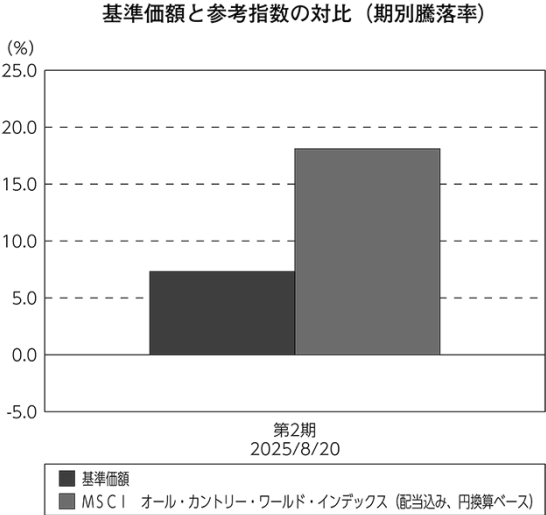
ICL（眼内コンタクトレンズ）を主力とした眼科の医療機器開発を行う企業です。既存の視力矯正技術である眼鏡やコンタクトレンズ、レーシックなどと比較して、同社製品は高い矯正力と安全性を有しており、生涯にわたり使用することを考慮すると経済面での優位性は高いと評価しています。当期は主力市場の一つである中国での景気停滞による業績への影響が懸念され、株価は下落しましたが、ICLは市場において普及の初期段階にあり、今後普及が拡大するにつれて同社の成長が期待されることから、保有を継続しています。

■ アライン・テクノロジー（米国）

透明な樹脂製マウスピース型矯正装置を提供するパイオニア企業です。同社の矯正装置は既存の金属製矯正装置に対して外見の審美性や装着感で優位性があります。歯列矯正における標準が金属製装置からマウスピース型装置に移行する可能性が高まるなか、技術開発や膨大なデータの蓄積によって対応症例の拡張が進んでおり、さらなる業績成長が期待されています。足元、主力市場である中国の景気後退や米国でのインフレ進展による消費意欲低下に伴う業績への懸念が強まり、株価は軟調に推移しましたが、中期的な成長性への期待に変化はなく、保有を継続しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークを設けておりません。
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

〇分配原資の内訳

（単位：円、1 万口当たり・税込み）

項 目	第 2 期
	2024年 8 月21日～ 2025年 8 月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— — %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,312

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行う方針です。なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。

トランプ政権の関税政策に対する警戒感が後退したことに加え、米国での利下げ期待が高まり、グローバル株式市場は高値圏で推移しています。しかし、米国の関税政策が世界経済に与える影響は依然として不透明であり、今後も株式市場は高い変動性を伴う展開が予想されます。

こうした状況下において、短期的な相場動向に左右されることなく、独自の競争力評価のフレームワークを活用し、グローバル市場で競争に勝ち続ける企業を発掘し、投資を行ってまいります。また、地政学リスクの高まりやトランプ政権の政策による経済や市場の混乱、企業や消費者行動の変化などを注視し、様々な視点から企業の現在および将来の競争力への影響を評価した結果、必要と判断した場合には、ポートフォリオの見直しを適切に実施してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 8 月 21 日～2025年 8 月 20 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 210	% 1.650	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(103)	(0.809)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(103)	(0.809)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	15	0.118	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(15)	(0.118)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.029	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(4)	(0.029)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.025	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	232	1.822	
期中の平均基準価額は、12,715円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

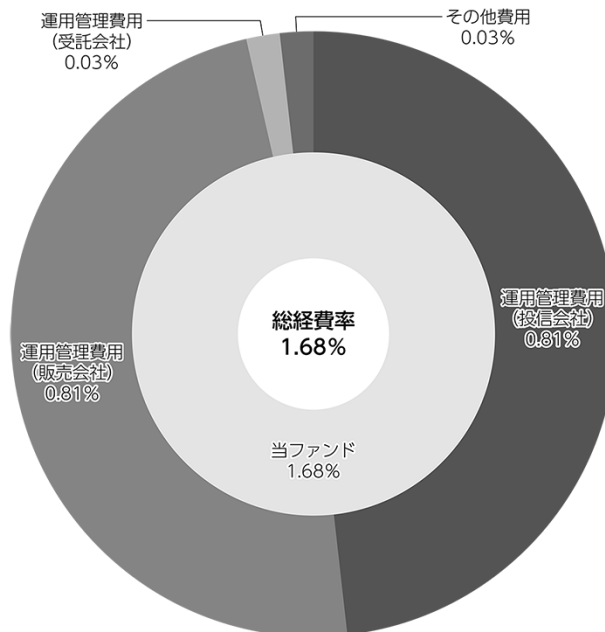
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.68%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年8月21日～2025年8月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
RMグローバル厳選株式マザーファンド	千口 2,017	千円 6,054	千口 1,307	千円 3,975

○株式売買比率

(2024年8月21日～2025年8月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	RMグローバル厳選株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	53,330,914千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	43,712,056千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月21日～2025年8月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年8月21日～2025年8月20日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年8月21日～2025年8月20日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 －	百万円 －	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2025年 8 月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
RMグローバル厳選株式マザーファンド	千口 5,579	千口 6,289	千円 19,762

○投資信託財産の構成

(2025年 8 月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
RMグローバル厳選株式マザーファンド	千円 19,762	% 99.1
コール・ローン等、その他	179	0.9
投資信託財産総額	19,941	100.0

- (注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
- (注) RMグローバル厳選株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（49,060,744千円）の投資信託財産総額（57,164,005千円）に対する比率は85.8%です。
- (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.73円、1ユーロ=171.90円、1スイスフラン=182.72円、1デンマーククローネ=23.03円、1オーストラリアドル=95.30円、1香港ドル=18.93円、1新台幣ドル=4.9044円。

○特定資産の価格等の調査

(2024年 8 月21日～2025年 8 月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年8月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	19,941,163
コール・ローン等	178,721
RMグローバル厳選株式マザーファンド(評価額)	19,762,341
未収入金	100
未収利息	1
(B) 負債	150,981
未払解約金	152
未払信託報酬	150,301
その他未払費用	528
(C) 純資産総額(A－B)	19,790,182
元本	14,865,417
次期繰越損益金	4,924,765
(D) 受益権総口数	14,865,417口
1万口当たり基準価額(C／D)	13,313円

(注) 当ファンドの設定時元本額は12,968,770円、期中追加設定元本額は5,314,029円、期中一部解約元本額は3,417,382円です。
(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.3313円です。

○損益の状況（2024年8月21日～2025年8月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	137
受取利息	137
(B) 有価証券売買損益	1,438,182
売買益	1,671,463
売買損	△ 233,281
(C) 信託報酬等	△ 303,621
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	1,134,698
(E) 前期繰越損益金	1,563,435
(F) 追加信託差損益金	2,226,632
(配当等相当額)	(716,893)
(売買損益相当額)	(1,509,739)
(G) 計(D＋E＋F)	4,924,765
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	4,924,765
追加信託差損益金	2,226,632
(配当等相当額)	(718,960)
(売買損益相当額)	(1,507,672)
分配準備積立金	2,698,133

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(110,175円)、費用控除後の有価証券等損益額(1,024,523円)、信託約款に規定する収益調整金(2,226,632円)および分配準備積立金(1,563,435円)より分配対象収益は4,924,765円(1万口当たり3,312円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)

<当ファンドが投資対象とするRMグローバル厳選株式マザーファンドは以下の約款変更を行いました。>

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)

RMグローバル厳選株式マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日 2025年8月20日）
（2024年8月21日～2025年8月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2019年8月28日から無期限です。
運用方針	①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 *上場予定、店頭登録予定を含みます。 *DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。 ②経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。 ③株式の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要投資対象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率		
	円	%		%	%	百万円
2 期(2021年 8 月20日)	19,661	44.8	171,088.18	32.9	98.9	950
3 期(2022年 8 月22日)	19,663	0.0	196,029.65	14.6	98.4	9,858
4 期(2023年 8 月21日)	22,452	14.2	219,080.47	11.8	98.4	21,433
5 期(2024年 8 月20日)	28,797	28.3	278,884.59	27.3	98.9	36,298
6 期(2025年 8 月20日)	31,420	9.1	329,366.40	18.1	98.9	57,159

(注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc. に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI オール・カンントリー・ ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2024年 8 月20 日	円 28,797	% —	278,884.59	% —	% 98.9
8 月末	28,742	△0.2	276,578.72	△ 0.8	98.8
9 月末	29,348	1.9	281,557.62	1.0	98.6
10月末	30,266	5.1	300,502.48	7.8	98.8
11月末	30,275	5.1	299,916.52	7.5	98.9
12月末	31,054	7.8	312,635.97	12.1	98.8
2025年 1 月末	31,066	7.9	313,051.85	12.3	99.0
2 月末	29,148	1.2	298,407.26	7.0	98.8
3 月末	27,840	△3.3	289,341.53	3.7	98.8
4 月末	27,229	△5.4	276,916.99	△ 0.7	98.8
5 月末	29,897	3.8	296,754.61	6.4	98.5
6 月末	30,680	6.5	310,898.09	11.5	98.8
7 月末	31,415	9.1	327,934.21	17.6	98.9
(期 末) 2025年 8 月20 日	31,420	9.1	329,366.40	18.1	98.9

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年8月21日～2025年8月20日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

トランプ政権の関税政策に対する警戒感が後退したことに加え、米国での堅調な企業業績や利下げ観測が好感され、グローバル株式市場が上昇したこと、基準価額は上昇しました。



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一となるよう指数化しています。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げや、米国大統領選挙でトランプ氏が再選したことを受け、上昇しました。期中は、米国政権の相互関税発表による景気後退懸念の高まりから株式市場は一時下落しましたが、米国政権が相互関税の上乗せ部分を一時停止したことや各国と関税交渉で合意に至ったことにより上昇に転じました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドルに対してほぼ同水準、ユーロに対して円安となりました。

米ドルに対して、期初に日米金利差が縮小するとの観測から円高米ドル安が進行した後、想定より底堅い米国の景気指標などを受け、FRBによる利下げペース鈍化が意識され円安米ドル高が進行しました。期中は、米国の景気悪化懸念やトランプ政権のパウエルFRB議長に対する解任発言などを受け、円高米ドル安に転じました。期末は、米国が各国と関税の交渉で合意したことでリスク選好が回復したことや、日本の参議院議員選挙で与党が過半数割れしたことで財政悪化への懸念から円安米ドル高が進行しました。

ユーロに対して、期前半は、ECB（欧州中央銀行）が連続で利下げを行った一方、日銀は利上げ継続姿勢だったことから、円高ユーロ安が進行しました。期後半になると、米国の通商政策から日銀が追加利上げを見送った一方でECBが利下げ終了に向かっていることや、避難通貨としてのユーロ買いが進んだことで、円安ユーロ高に転じました。

新興国通貨について、期前半は、中国を中心に米国による関税引き上げへの懸念などが意識され、米ドルに

対して新興国通貨安となりました。期後半は、米国の関税策導入以降米ドル離れが進行したことで、米ドルに
対して新興国通貨高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に
主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる
銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■キング・スライド・ワークス（台湾）

サーバー向けレールキットの世界大手企業です。技術力とコスト競争力に優位性を持ち、特にサーバーを手
前に引く際のスムーズさや安定性は、高い市場シェアを占める要因となっています。近年では、キッチン向け
レールキットも製造しており、加工難易度や機能性の向上により、今後の成長が期待されています。米国の大
手テクノロジー企業の好決算を受けてAI（人工知能）投資関連株への注目が再び高まったことが追い風とな
り、株価は上昇しました。

■アクソン・エンタープライズ（米国）

警察などの法執行機関向け装備の開発企業です。法執行現場での安全性と透明性の向上を目指し、銃器の代
替となる非致死性兵器の開発に取り組んでおり、テザー銃（ワイヤー針射出式スタンガン）では独占的な
シェアを有しています。近年は、ボディカメラやクラウドサービスなどへ事業を拡大するとともに、法執行機
関のDX（デジタル技術を活用した業務プロセス改善）進展を支援するなど海外展開も加速しています。同社の
業績は全事業で好調を維持しており、持続的成長への評価が高まった結果、株価は堅調に推移しました。

<マイナス要因>

■スターサージカル（米国）

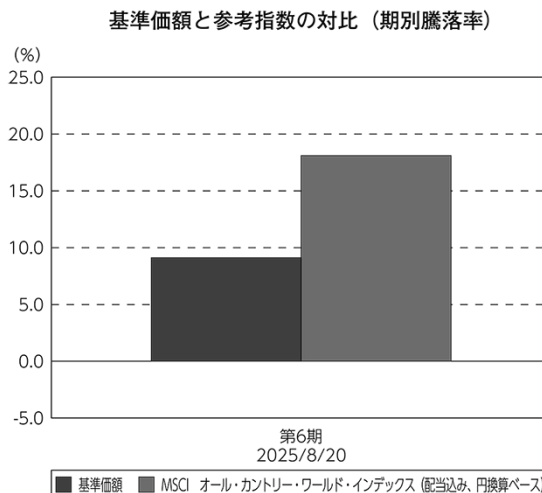
ICL（眼内コンタクトレンズ）を主力とした眼科の医療機器開発を行う企業です。既存の視力矯正技術であ
る眼鏡やコンタクトレンズ、レーシックなどと比較して、同社製品は高い矯正力と安全性を有しており、生涯
にわたり使用することを考慮すると経済面での優位性は高いと評価しています。当期は主力市場の一つであ
る中国での景気停滞による業績への影響が懸念され、株価は下落しましたが、ICLは市場において普及の初期
段階にあり、今後普及が拡大するにつれて同社の成長が期待されることから、保有を継続しています。

■アライン・テクノロジー（米国）

透明な樹脂製マウスピース型矯正装置を提供するパイオニア企業です。同社の矯正装置は既存の金属製矯
正装置に対して外見の審美性や装着感で優位性があります。歯列矯正における標準が金属製装置からマウス
ピース型装置に移行する可能性が高まるなか、技術開発や膨大なデータの蓄積によって対応症例の拡張が進
んでおり、さらなる業績成長が期待されています。足元、主力市場である中国の景気後退や米国でのインフレ
進展による消費意欲低下に伴う業績への懸念が強まり、株価は軟調に推移しましたが、中期的な成長性への期
待に変化はなく、保有を継続しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークを設けておりません。
 グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



○今後の運用方針

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。

トランプ政権の関税政策に対する警戒感が後退したことに加え、米国での利下げ期待が高まり、グローバル株式市場は高値圏で推移しています。しかし、米国の関税政策が世界経済に与える影響は依然として不透明であり、今後も株式市場は高い変動性を伴う展開が予想されます。

こうした状況下において、短期的な相場動向に左右されることなく、独自の競争力評価のフレームワークを活用し、グローバル市場で競争に勝ち続ける企業を発掘し、投資を行ってまいります。また、地政学リスクの高まりやトランプ政権の政策による経済や市場の混乱、企業や消費者行動の変化などを注視し、様々な視点から企業の現在および将来の競争力への影響を評価した結果、必要と判断した場合には、ポートフォリオの見直しを適切に実施してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 8 月21 日～2025年 8 月20 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 37 (37)	% 0.123 (0.123)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	9 (9)	0.031 (0.031)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.020 (0.019) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	52	0.174	
期中の平均基準価額は、29,746円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年8月21日～2025年8月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 1,859 (374)	千円 4,749,420 (ー)	千株 1,004	千円 2,192,702
外 国	アメリカ	百株 12,168	千米ドル 137,652	百株 5,479	千米ドル 72,757
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	272	12,016	103	4,004
	フランス	2,245	7,688	625	2,207
	オランダ	135	8,960	44	3,059
	スイス	0.42	千スイスフラン 4,690	0.18	千スイスフラン 2,118
	オーストラリア	1,208	千オーストラリアドル 11,367	837	千オーストラリアドル 9,668
	香港	9,379	千香港ドル 56,655	1,477	千香港ドル 8,365
	台湾	3,310	千新台湾ドル 410,016	3,520	千新台湾ドル 529,516

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年8月21日～2025年8月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	53,330,914千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	43,712,056千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月21日～2025年8月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2024年8月21日～2025年8月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2025年8月20日現在）

国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		株 数	株 数	評 価	額
		千株	千株		千円
医薬品（46.8%）					
	塩野義製薬	176	744.8		1,972,602
	ペプチドリーム	504.9	1,108.1		1,721,987
電気機器（23.5%）					
	キーエンス	17.8	32.6		1,859,178
サービス業（29.7%）					
	エムスリー	961.2	1,004		2,341,830
合 計	株 数 ・ 金 額	1,659	2,889		7,895,598
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	4		<13.8%>

（注）銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

（注）評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄		柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等		
			株 数	株 数	評 価		額	
				外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ)			百株	百株	千米ドル	千円		
DANAHER CORP			281	629	13,356	1,973,219	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
WALT DISNEY CO/THE			908	1,061	12,338	1,822,828	メディア・娯楽	
ECOLAB INC			313	468	13,284	1,962,583	素材	
AMPHENOL CORP-CL A			1,205	1,197	13,166	1,945,115	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
GARTNER INC			166	362	8,802	1,300,386	ソフトウェア・サービス	
NIKE INC -CL B			1,060	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
ORACLE CORP			—	515	12,099	1,787,402	ソフトウェア・サービス	
SERVICENOW INC			93	129	11,491	1,697,680	ソフトウェア・サービス	
VISA INC-CLASS A SHARES			296	359	12,305	1,817,956	金融サービス	
ADOBE INC			141	344	12,423	1,835,256	ソフトウェア・サービス	
ALIGN TECHNOLOGY INC			348	616	8,863	1,309,478	ヘルスケア機器・サービス	
AXON ENTERPRISE INC			216	173	13,155	1,943,472	資本財	
AMAZON.COM INC			428	548	12,511	1,848,371	一般消費財・サービス流通・小売り	
EXPONENT INC			744	1,796	12,506	1,847,563	商業・専門サービス	
INTUITIVE SURGICAL INC			169	258	12,392	1,830,757	ヘルスケア機器・サービス	
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC			91	172	14,611	2,158,580	半導体・半導体製造装置	
NVIDIA CORP			719	722	12,693	1,875,263	半導体・半導体製造装置	
STAAR SURGICAL CO			2,119	6,635	18,553	2,740,970	ヘルスケア機器・サービス	
小	計	株 数 ・ 金 額	9,304	15,993	214,559	31,696,888		
		銘柄 数 < 比 率 >	17	17	—	<55.5%>		
(ユーロ…ドイツ)					千ユーロ			
HANNOVER RUECK SE			313	414	10,494	1,804,037	保険	
RATIONAL AG			90	158	10,373	1,783,195	資本財	
小	計	株 数 ・ 金 額	404	573	20,868	3,587,232		
		銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<6.3%>		
(ユーロ…フランス)								
DASSAULT SYSTEMES SE			2,083	3,702	9,996	1,718,464	ソフトウェア・サービス	
小	計	株 数 ・ 金 額	2,083	3,702	9,996	1,718,464		
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<3.0%>		
(ユーロ…オランダ)								
ASML HOLDING NV			84	175	11,262	1,936,063	半導体・半導体製造装置	
小	計	株 数 ・ 金 額	84	175	11,262	1,936,063		
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<3.4%>		
ユ ー ロ 計			株 数 ・ 金 額	2,572	4,451	42,127	7,241,760	
		銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	<12.7%>		
(スイス)					千スイスフラン			
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-REG			0.63	0.87	10,074	1,840,830	食品・飲料・タバコ	
小	計	株 数 ・ 金 額	0.63	0.87	10,074	1,840,830		
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<3.2%>		
(オーストラリア)					千オーストラリアドル			
WISETECH GLOBAL LTD			1,253	1,624	18,704	1,782,524	ソフトウェア・サービス	
小	計	株 数 ・ 金 額	1,253	1,624	18,704	1,782,524		
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<3.1%>		
(香港)					千香港ドル			
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP			9,167	17,069	100,536	1,903,154	耐久消費財・アパレル	
小	計	株 数 ・ 金 額	9,167	17,069	100,536	1,903,154		
		銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<3.3%>		

銘		柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
			株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(台湾)			百株	百株	千新台幣ドル	千円	半導体・半導体製造装置 テクノロジー・ハードウェアおよび機器
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC			2,706	3,336	395,316	1,938,787	
KING SLIDE WORKS CO LTD			2,302	1,462	451,027	2,212,016	
小 計	株 数 ・ 金 額		5,008	4,798	846,343	4,150,804	
	銘 柄 数 < 比 率 >		2	2	—	<7.3%>	
合 計	株 数 ・ 金 額		27,306	43,937	—	48,615,963	
	銘 柄 数 < 比 率 >		26	26	—	<85.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄のくゝ内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2025年8月20日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	56,511,561	98.9
コール・ローン等、その他	652,444	1.1
投資信託財産総額	57,164,005	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
(注) 当期末における外貨建純資産（49,060,744千円）の投資信託財産総額（57,164,005千円）に対する比率は85.8%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.73円、1ユーロ=171.90円、1スイスフラン=182.72円、1デンマーククローネ=23.03円、1オーストラリアドル=95.30円、1香港ドル=18.93円、1新台幣ドル=4.9044円。

○特定資産の価格等の調査

(2024年8月21日～2025年8月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	57,164,005,650
コール・ローン等	649,623,029
株式(評価額)	56,511,561,723
未収配当金	2,818,907
未収利息	1,991
(B) 負債	4,500,100
未払解約金	4,500,100
(C) 純資産総額(A－B)	57,159,505,550
元本	18,192,220,819
次期繰越損益金	38,967,284,731
(D) 受益権総口数	18,192,220,819口
1万口当たり基準価額(C／D)	31,420円

(注) 当ファンドの期首元本額は12,605,150,520円、期中追加設定元本額は5,886,245,059円、期中一部解約元本額は299,174,760円です。

(注) 2025年8月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル厳選株式ファンド(FofS用)(適格機関投資家専用) 16,830,453,645円
- ・リソナグローバル厳選株式ファンド(適格機関投資家専用) 893,228,567円
- ・リソナ つみたてグローバル株式アクティブファンド 462,248,874円
- ・グローバル株式厳選ファンド 6,289,733円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は3,1420円です。

○損益の状況 (2024年8月21日～2025年8月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	370,305,327
受取配当金	366,512,765
受取利息	3,776,521
その他収益金	16,041
(B) 有価証券売買損益	4,453,719,678
売買益	10,479,294,440
売買損	△ 6,025,574,762
(C) 保管費用等	△ 8,645,100
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	4,815,379,905
(E) 前期繰越損益金	23,693,492,025
(F) 追加信託差損益金	11,034,110,641
(G) 解約差損益金	△ 575,697,840
(H) 計(D＋E＋F＋G)	38,967,284,731
次期繰越損益金(H)	38,967,284,731

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)